

## カブトムシ・クワガタムシの不思議

- 1 日 時：平成29年7月23日（日）  
午前の部 11：00～12：00  
午後の部 13：15～14：15
- 2 場 所：福井ふるさと学びの森（大野市 自然保護センター自然観察の森）
- 3 参加者：33（大人17、子ども16）
- 4 講 師：伊藤 勝幸さん（自然観察指導員の会）
- 5 主 催：福井県自然保護センター、福井県里山里海湖研究所
- 6 イベントのようす：



カブトとクワガタについて話を聞きました。



大きなカブトムシに目がくぎづけです。



この木を足の裏で蹴とばすだけでOKです。

はじめに、講師の伊藤勝幸さんがカブトムシとクワガタムシの種類や性質を説明され、その後親子でケースに入った数種類のカブトムシ・クワガタムシを観察しました。

ヘラクレスオオカブトやコーカサスオオカブトなど世界のカブトムシも見ることができ、子どもたちはもちろん、保護者の皆さんも興味津々でした。

次に屋外に出て、講師のお話を聞きました。

カナブンやハチが集まっているような木だったら、クワガタやカブトも集まりやすいということ、そして夜遅くに集まってくるということなどを聞きました。特にカブトムシは深夜を過ぎてもよく活動するというお話でした。

今回は小雨交じりでしたので、クワガタが好む木々のところまで緑の中を歩くことにしました。少し小雨まじりでしたが、緑豊かな林を歩きながら、子どもたちは心弾ませているようでした。

クワガタはクヌギやナラの木に多く集まるということで、講師から「木の幹を足でキックしてやるだけで、クワガタが落ちてきます。目で見て木の種類が分かれば簡単です。」と聞かされて、子どもたちは目を輝かせていました

自然保護センターに戻った後は、参加者全員が1匹ずつクワガタムシをもらってとてもうれしそうでした。

午後は雨が激しくなり、時間まで待ちましたが参加者はありませんでした。